

**東海スプリントシリーズ2019 ワールドレインボーカラーズチャンピオンシップ開催概要
スプリントレース部門規則書 (Ver.1.0) 【2019年2月版】**

鈴鹿ツインサーキットを舞台としてサーキットとクルマを楽しむ、スポーツ走行を味わう1日を過ごしていただくためのイベントとして開催致します。軽自動車のクラスも新設しました。

開催カレンダー

開催回	開催日	会場	併催走行会	併催企画
第1戦	4月14日(日)	鈴鹿ツインサーキット・フルコース	一般スポーツ走行会枠	ウイングオートドライビングアカデミー
第2戦	6月30日(日)	鈴鹿ツインサーキット・フルコース	一般スポーツ走行会枠	東海耐久シリーズ第2戦
第3戦	11月17日(日)	鈴鹿ツインサーキット・フルコース	一般スポーツ走行会枠	ウイングオートドライビングアカデミー

※上記の他にも併催イベントが毎回あります。ホームページをご覧ください。

※走行会・その他企画については別途募集要項をご覧ください。

開催概要・カテゴリ

(1)国産車系レースクラス

■ターボクラス※4WDクラスは別途設定する

ターボ車によるクラス。ラジアルタイヤ着装、エアロパーツ装着OK。

■NAクラス1、NAクラス2(ラジアルタイヤ)

NA車両、2990cc以上はクラス1、1500cc以上2990cc未満はクラス2

■コンパクトカークラス(ラジアルタイヤ)

1500cc~1000ccNA車、及び660cc未満ターボ車両によるクラス。

★NEW!★ 660スプリントクラス(ラジアルタイヤ)

軽自動車によるクラス。ターボチューンド、ターボノーマル、NAチューンド、NAノーマルの4クラスに分けられる。

■ハチロクキング決定戦(オープン、GT、S-N1)

AE85/86ワンメイク。改造自由のオープン、N2規定+αのGT、N1規定+αのスーパーN1の3クラス制。(※オープンはエンジンスワップ可)

■トヨタハチロク/BRZクラス(ラジアルタイヤ)

トヨタハチロク・BRZによるクラス。Nゼロ規定に近いN1、それ以上の改造を行ったN2に分かれる

(2)輸入車系レースクラス

■ユーロオープン(Sタイヤまで使用可、スリックタイヤ禁止)

ポルシェ、M系BMW各車、2001cc以上のターボ車等どこにも該当しない輸入車

■ユーロ2000クラス(オープン、レーシング)

2000cc以下の輸入車によるクラスで、以下の2クラスに分かれる。

- ・ユーロ2000-Turbo…2000cc以下過給機付、Sタイヤ使用OK
- ・ユーロ2000-Racing…2000cc以下NA、Sタイヤクラス

■LOTUSスプリント(OPENクラス、タイヤクラス、ラジアルクラス)

- ・LOTUS-OPEN…1イレヴン、2イレヴン、340R、過給機付車両SタイヤOK
- ・LOTUS-Racing…エリーゼ、エキシージ等のSタイヤでNAエンジンの車両
- ・LOTUS-Normal…エリーゼ、エキシージ等のラジアルタイヤ車両

募集要項

主催:レインボーカラーズ(株)

<http://www.rainbowcolors.jp>

1.参加費 レース部門全クラス共通

通常料金	…	¥26,000(うち消費税¥1,926)+傷害保険料¥500
早割(20日前までに入金・申込書提出済の場合)	…	¥25,000(うち消費税¥1,852)+傷害保険料¥500
当日クレジットカード(手数料込)	…	¥27,000+傷害保険料¥500
※第3戦に消費税10%が導入された場合、レース部門は上記にプラス¥500されます		
一般走行会枠	…	¥15,000(計測付)(うち消費税¥1,111)※消費税10%が導入された場合、プラス¥300されます。+傷害保険料¥500

※昼食は各自ご用意いただくか、会場の飲食店をご利用ください。

2.お申込み・お問合せ

申込用紙、車両申告書に必要事項をご記入の上、下記までご郵送またはFAXにてお送り下さい。
参加費は下記にお振込みいただくか、現金書留にて申込と同封でご郵送ください。ご協力・ご協賛ショップに提出していただいても結構です。尚、早割は参加費の入金と申込書の両方が開催日より20日前までに到着していなければ適用されません。

〒441-1376 愛知県新城市宮の前15-1 レインボーカラーズ株式会社 新城オフィス

FAX:0536-23-2922 email:info@rainbowcolors.jp 本社電話:0566-91-3779

振込の場合の銀行口座:三菱UFJ銀行 知立支店 普通0069732 レインボーカラーズ株式会社

車両規定

1. 共通車両規定

- 1) レース部門の車両においては、シートベルトは運転席に4点式以上の装着が必要。アンカーボルトできちんと車体側に固定する事が望ましい。
- 2) オープンボディには強度あるロールバーの装着を義務付け。ヘルメット着用で着座した際、頭がロールバーよりも上部に突出しないようにすること。
- 3) 3ドア車両でリアゲートやドアをFRPIに材質変更した場合、サイドバーを入れる等ロールバーと同等の強度を持つ補強バーの装着が必要。
- 4) 牽引用ブラケットは、純正のものかモータースポーツ用を前後に装着していなければならず、牽引可能な状態にしておくこと。(スポイラーなどでフックを隠さない。)材質は金属でなくてもよい。
- 5) 排気音量基準は105db。超える車両は走行できない場合がある(会場サーキット規定)
- 6) 燃料と各油脂類は市販の無鉛ガソリンを使用し、アブガス・ニトロの使用は禁止とする。
- 7) 車両はドライバー1名に対して申告した1台のみとし、登録した車両以外の代替車両は使用できない。
- 8) 作動方法、取付位置は問わないが、内容量2kg以上の粉末消火器又はFAA方式の消火器の搭載を推奨する。搭載は専用の固定具を使用する等して確実に固定し、且つ使用時に道具を使わず容易に、直ちにドライバーが使用できる状態でなければならない。
- 9) タイヤは、いかなる場合でも車体の他の箇所に接触してはならない。
- 10) 道路交通法で禁止されるウイング類・エアロパーツを装着する場合、場外では必ず取り外す事。
- 11) レーシングネットを付けていない場合は、運転席の窓は全閉にして走行すること。
- 12) 統一解釈: 全クラス共、各車両規定の解釈に疑義が生じた場合には、本大会の技術責任者、競技長、競技長又は事務局長の判断を以て最終とする。

2. 国産車部門・各クラス車両規定

ターボクラス

共通車両規定を満たしていれば、車種・改造制限なし。但し、以下については守られていること。

- (1) 一般市販されているストリート用ラジアルタイヤを装着すること。Sタイヤとされるタイヤ、主催者が禁止するタイヤを装着しないこと。1戦につき4本(1セット)のみ使用可。(禁止されるタイヤについては別表参照)
- (2) ドアやリアゲートをFRPIに変更した場合は、ロールバー又は同等の強度を持つ乗員保護バーの取り付けを行うこと。
- (3) オイルクーラー、インタークーラーは車体外部につけないこと。
- (4) 燃料タンクを安全タンクに変更した場合は、ワンウェイバルブ(逆流防止弁)を付けること。
- (5) バッテリーの位置を変更した場合、電気配線が燃料系統より200mm以上離れていること。また、バッテリーの端子絶縁は確実に行われていること。
- (6) エアクリーナは変更自由だが、適正なものが装着されていること。
- (7) また、4WD車両については、2輪駆動の車両とは別クラスとし、ターボ4WDクラスとして扱う。

NAクラス(クラス1=2990cc以上、クラス2=1500cc~2990cc)

共通車両規定が満たされた、660cc以上NAエンジン(VTEC含む)搭載の車両であること。駆動形式による規制はないが以下について守られていること。

排気量によって、2990cc以上はクラス1、それ以下で1500cc以上についてはクラス2とする。

- (1) 一般市販されているストリート用ラジアルタイヤを装着すること。Sタイヤとされるタイヤ、主催者が禁止するタイヤを装着しないこと。1戦につき4本(1セット)のみ使用可。(禁止されるタイヤについては別表参照)
- (2) ドアやリアゲートをFRPIに変更した場合は、ロールバー又は同等の強度を持つ乗員保護バーの取り付けを行うこと。
- (3) オイルクーラーは車体外部につけないこと。
- (4) 燃料タンクを安全タンクに変更した場合は、ワンウェイバルブ(逆流防止弁)を付けること。
- (5) バッテリーの位置を変更した場合、電気配線が燃料系統より200mm以上離れていること。また、バッテリーの端子絶縁は確実に行われていること。
- (6) エアクリーナは変更自由だが、適正なものが装着されていること。

コンパクトカークラス(1500cc~1000ccNA車)

共通車両規定が満たされた、1000~1500cc未満の自然吸気エンジン車両及び660cc未満の過給機付車両であること。

- (1) 一般市販されているストリート用ラジアルタイヤを装着すること。Sタイヤとされるタイヤ、主催者が禁止するタイヤを装着しないこと。1戦につき4本(1セット)のみ使用可。(禁止されるタイヤについては別表参照)
- (2) ドアやリアゲートをFRPIに変更した場合は、ロールバー又は同等の強度を持つ乗員保護バーの取り付けを行うこと。
- (3) オイルクーラーは車体外部につけないこと。
- (4) 燃料タンクを安全タンクに変更した場合は、ワンウェイバルブ(逆流防止弁)を付けること。
- (5) バッテリーの位置を変更した場合、電気配線が燃料系統より200mm以上離れていること。また、バッテリーの端子絶縁は確実に行われていること。
- (6) エアクリーナは変更自由だが、適正なものが装着されていること。

660スプリントクラス (ターボチューンド=660TB-T、ターボノーマル=660TB-N、NAチューンド=660N-T、NAノーマル=660N-N)

共通車両規定が満たされた、660cc未満の自然吸気エンジン及び過給機付車両であること。
エンジン・ミッションを加工・変更した場合には、チューンドクラスとする。エンジン・ミッションの加工・変更がない場合にはノーマルクラスとする。

- (1)一般市販されているストリート用ラジアルタイヤを着装すること。Sタイヤとされるタイヤ、主催者が禁止するタイヤを装着しないこと。1戦につき4本(1セット)のみ使用可。(禁止されるタイヤについては別表参照)
- (2)ドアやリアゲートをFRPに変更した場合は、ロールバー又は同等の強度を持つ乗員保護バーの取り付けを行うこと。
- (3)オイルクーラーは車体外部につけないこと。
- (4)燃料タンクを安全タンクに変更した場合は、ワンウェイバルブ(逆流防止弁)を付けること。
- (5)バッテリーの位置を変更した場合は、電気配線が燃料系統より200mm以上離れていること。また、バッテリーの端子絶縁は確実に行われていること。
- (6)エアクリーナは変更自由だが、適正なものが装着されていること。

ハチロクキング決定戦 オープンクラス(AE86/85ワンメイク、但しエンジンは4Aでなくてもよい)

共通車両規定が満たされた、車体がAE86又はAE85型式の車両であること。

エンジン及び過給機の有無、エンジンも自由とする。

過給機を装着した場合には、事前に事務局に別途申し、その旨を連絡すること。

ハチロクキング決定戦 GTクラス(AE86/85ワンメイク)

共通車両規定が満たされ、禁止されている項目以外は、危険がなければ自由。

A.エンジン: 4Aであること(ブロック、ヘッドは4Aを使用せねばならない)但し過給機の追加は禁止。

- (1)気筒容積: 1600ccを基準とし、上記に準ずるが、安全な加工範囲内であれば特に制限は無し。
- (2)燃料タンク: 燃料系統の変更を行った場合、安全タンクへの変更を推奨する。
- (3)燃料ポンプ: 安全タンクに変更した場合は電気式へ変更できる。
- (4)エンジンオイルクーラー: 取付OK。但し車体外部への取付禁止。

B.シャシー

- (1)タイヤ: スリックタイヤは禁止する。
- (2)ショックアブソーバー: 作動原理の変更、車両への取付位置、数を変更しなければ変更OK。
- (3)ボディ・カウル: 自由。但し十分な強度を備え、乗員が保護されていること(ドアをFRPにするなどした場合、ドアビームなどを入れて乗員保護をしなければならない。)
- (4)窓: 変更OK。但し十分な透視性を確保していること。
- (5)ライト類: 後方ライト類は、ライセンスランプを除き全て正常に点灯すること。ウインカーも正常に点灯すること。
- (6)エアロパーツ・ウイング類: 視界を妨げたり、ルーフより高い位置のウイングは禁止。

ハチロクキング決定戦 スーパーN1クラス(AE86/85ワンメイク)

所謂N1.5と俗に呼ばれる改造範囲であり、N1規定とN2規定の中間の規定である。以下に示す範囲にて改造が許されている。

A.エンジン

4バルブの4Aで、自然吸気、1600cc未満であること。ウェットサンプ方式であり、フューエルポンプを含む補機類はAE86用を使用すること。ただしTVISの有無は問わない。またボア81.5mm×ストローク77mmの範囲を超えてはならない。(ポート側段付き修正は5mm以内のルールに基づく)

- (1)ブロック、ヘッドは4バルブのものを使用すること。
- (2)サージタンク、インマニはAE86用を使用すること。但しポートアダプターの取付はOK。(逆転インマニは禁止です)

B.フレーム…市販のもので、AE86又はAE85に限る。

C.シャシー

- (1)クーリングファン: 電動ファンへの変更など自由。
- (2)エアクリーナ: 変更OK、但し取り外しは不可。
- (3)ラジエター: 変更OK。但し車体外部に取付けないこと。
- (4)エンジンオイルクーラー: 取付OKだが車体外部に取付けないこと
- (5)マフラー: 音量規制は95dbで、排気口は後方にあること。
- (6)ヘッドガスケット: 変更できるが、厚さはカムタイミングチェーン、ベルトの調整範囲内であること。
- (7)エキマニ: 自由。
- (8)コンピューター: AE86純正を使用し、変更は禁止。
- (9)デフ: LSDの装着OK。ファイナルギアは変更できるが、4.3、4.5、4.7を使用すること。
- (10)ホイール: 15インチ以下とする。
- (11)ショックアブソーバー、スプリング: 車高調OK。作動原理及び取付位置の変更、シェルケースの加工は禁止。
- (12)ピロアッパーマウント: 装着OK。
- (13)ブレーキ: パッドとホースの変更はできる。キャリパー、ローターの変更は禁止。
- (14)ラテラルロッド: 調整式に変更することができる。取付部のみ材質変更OK。
- (15)フライホイール・クラッチ: 変更OK。
- (16)エアコン、バッテリー: エアコン装着は自由。バッテリーの変更はOK、エンジンルーム内であれば取付位置の変更も認められる。
- (17)ライト類: 取り外し禁止。ライセンスランプを除き全てのライトが正常に点灯すること(決勝中のライト点灯義務付のため)
- (18)タイヤ: プリヂェストン製POTENZA RE71Rを指定とし、サイズは195/50R15又は同銘柄の14インチ以下のものを、4輪共使用すること。

- (19)ステアリング・オーディオ・ペダル類:自由。
- (20)ロールセンターアジャスター:取付OK。
- (21)スタビ:調整式及び取付位置の変更をしなければ変更OK。
- (22)フレーム補強等:自由。但し当初の形状を維持していること。
- (23)軽量化:内装はがしは認められるが、フレームの材質変更や軽量化目的の為に穴を開けるなどの加工は禁止する。
- (24)ドア・カウリング全般:ボンネット・リアゲート・フェンダーは材質変更OK。但しガラスをアクリルに変更した場合には、6点式以上のロールバーが必要。ドア・その他カウリングについては材質変更禁止。また、フェンダーの加工や継ぎ足しは禁止する(オーバーフェンダーは不可)。

トヨタハチロク/BRZ N1クラス、N2クラス

N1クラスとN2クラスを設定する。ともに共通車両規定を満たしていること。

- (1)純正気筒容積を維持する、NAエンジンであり補機類も純正であること。もし後付で過給機を装着した場合はターボクラス扱いとする。
- (2)タイヤはN1クラスはストリートラジアルタイヤのみ、17インチまで。サイズは225/55R16又は、215/45R17であること(前後サイズの変更は認める)。両クラスにおいてハチロクレーシング(公認ワンメイク)に使用されるタイヤは許可される。N2クラスはサイズ規定なし、SタイヤOK。但しSタイヤの場合レイン用タイヤを別に1セット用意すること。スペーサーの使用は、N1クラスは禁止。
- (3)足回りについては、作動原理の変更、車体への取付位置の変更、数の変更不可。
- (4)エアクリーナの変更は自由だが、取り外しての走行はしないこと。
- (5)ウイング・エアロパーツ:N1は装着禁止。N2クラスにおいて装着する場合、視界を妨げたり、ルーフより高い位置のウイングの使用は禁止。
- (6)バッテリー:変更OK。N1クラスは取付位置の変更は認められない。
- (7)ブレーキパッド、ホース:両クラスとも交換は認められる。
- (8)ブレーキキャリパー:N2クラスのみ交換は認められる。
- (9)オイルクーラー、ラジエター:両クラスとも交換は認められる。
- (10)LSD:N2クラスのみ変更・加工は認められる。クラッチの変更は可。
- (11)ギア比、ファイナルギア:N2クラスのみ変更は認められる。
- (12)スタビライザー:装着・変更は認められる。
- (13)ロールバー:装着するかしないかは自由。但し装着の場合はNゼロ規定準処品の装着を推奨する。
- (14)ECU、コンピュータ:N1クラスはいかなる変更・加工・改造は禁止。
- (15)エンジンマウント:両クラス変更可。
- (16)フライホイール:N2クラスのみ変更可。
- (17)オイルポンプ:N2クラスのみ変更可。
- (18)点火系統:N2クラスのみプラグコードを含め変更可。
- (19)吸・排気マニホールド:N2クラスのみ変更可。
- (20)マフラー:両クラス変更可。但し会場サーキット音量規制値をクリアすること
- (21)ラバーマウント及びブッシュ:変更は認められるが、N1クラスは材質変更不可。N2クラスは材質変更を含め認められる。
- (22)バンパー等カウリング:N1クラスは、車体寸法の変更がない範囲で変更可。N2クラスは危険でなければ自由。
- (23)ガラス:材質変更不可。

3.輸入車部門・各クラス車両規定

ユーロオープンクラス

ポルシェ、M系BMW各車、2001cc以上のターボ車等どこにも該当しない輸入車であること。

共通車両規定が満たされ、禁止されている項目以外は、危険がなければ自由。

- (1)スリックタイヤの使用は禁止される。雨天時を想定し、ウェット用のタイヤを別途1セット用意できる。1戦につき、レイン用を含め8本(2セット)使用可。
- (2)ドアやリアゲートをFRPに変更した場合は、ロールバー又は同等の強度を持つ乗員保護バーの取り付けを行うこと。
- (3)オイルクーラーは車体外部につけないこと。
- (4)燃料タンクを安全タンクに変更した場合は、ワンウェイバルブ(逆流防止弁)を付けること。
- (5)バッテリーの位置を変更した場合、電気配線が燃料系統より200mm以上離れていること。また、バッテリーの端子絶縁は確実に行われていること。
- (6)エアクリーナは変更自由だが、適正なものが装着されていること。

ユーロ2000クラス(ターボクラス、Rクラス)

2000cc以下の車両であること。TURBOクラスは過給機付車両のクラスとし、Racing、クラスはNAエンジンクラスとする。

- (1)スリックタイヤの使用は禁止される。雨天時を想定し、ウェット用のタイヤを別途1セット用意できる。1戦につき、レイン用を含め8本(2セット)使用可。
- (2)NOSの使用及びNOSの機器を搭載は禁止とする。
- (3)足回りについては、作動原理の変更、車体への取付位置の変更、数の変更不可。
- (4)エアクリーナの変更は自由だが、取り外しての走行はしないこと。
- (5)ウイング・エアロパーツを装着する場合、視界を妨げたり、ルーフより高い位置のウイングの使用は禁止。
- (6)バッテリー:変更OK。但し、車室への取付は注意すること。

ロータスプリントクラス

共通車両規定が守られていること。但し、純正エンジン以外に換装した場合と、195PSを超える車両についてはOPENクラスとする。

- (1)OPEN及びRクラスはSタイヤ使用可能、Nクラスは一般市販のストリート用ラジアルタイヤ(R1Rを含む)のみ使用可能。(Nクラスで禁止されるタイヤについては別表参照)全クラスともスリックタイヤの使用禁止。
- (2)NOSの使用及びNOSの機器を搭載は禁止とする。
- (3)足回りは、作動原理の変更、車体への取付位置の変更、数の変更不可。
- (4)エアクリーナの変更は自由だが、取り外しての走行はしないこと。
- (5)OPEN及びRクラスでSタイヤを使用する場合、雨天時に備えレイン用タイヤを1セット用意しておかねばならない。ドライ用とはコンパウンドの異なるタイヤ、あるいは種類の異なるタイヤを用意すること。最初から雨天が予想され、ドライ用のタイヤのみ用意の場合は、技術委員が危険と判断した場合、走行を中止させる場合がある。

ラジアルタイヤ装着指定のクラスで禁止されるタイヤ(トヨタハチロク/BRZクラスを除く)

メーカー	銘柄
ブリヂストン(POTENZA)	RE520S、RE540S、RE55S、RE11S
	RE-11A 2.0、RE-12D、RE-05D、RE-07D
ヨコハマゴム(ADVAN)	A021、A032、A038、A039、A048、A049、A050、A052、A08B
ダンロップ(DUNLOP、FORMULA)	D93J、D98J、D01J、02G、03G、RSV98、β 02、β 04
トーヨータイヤ(PROXES)	FM9R、08R、R881、R888、R888R

※上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。

※新発売のタイヤで判断が付かない場合は、必ず主催者まで問合せること。

競技規定(スポーティングレギュレーション)

1.競技の方法

予選タイム順で決勝のスターティンググリッドを決め、スタンディングスタート方式による決勝を行う。周回数は10周を予定(ドライ時)。ハチロク両クラスについては、今シーズンは混走とするが、グリッド順は各クラス毎に決定し、両クラスを分けてスターティンググリッド整列とする。別途公式通知、又はプリーフィングにて確認すること。

ウェットレース宣言が出された場合、Sタイヤ使用車両はレイン用タイヤに変更しなければならない。またその場合、周回数は8周以下に減周される。

2.規定周回数

決勝レース距離の全周回数の80%とし、周回数が決定・発表された時点で同時に発表するものとする。(端数切捨て)

3.妨害行為

レース中及びピット作業中には、他の競技車を妨害してはならない。審判員によって妨害行為と判定された場合は、ペナルティの対象とする。またスポーツマンシップに反する行為もペナルティの対象とし、下されたペナルティの内容については抗議を受け付けない。

4.順位決定方法

最終周回数消化時点のコントロールライン(計時ライン)通過の計時結果を以って判定とする。計時結果が完全に同タイムだった場合には、決勝中のベストタイムが速かった者を上位とする。

5.赤旗中断(競技の中断)時の順位判定方法

ケースA…レース成立

先頭車両が全周回数の半数(奇数の場合はその数より1を引いた周回数)を終了後に赤旗中断の場合、赤旗掲示した周回数の直前の周回数時点での順位にてレースは成立し、そのまま結果となる。

ケースB…再スタート

先頭車両が全周回数の半数(奇数の場合はその数より1を引いた周回数)を終了していいない時に赤旗中断の場合、赤旗の掲示された時点での順位でレースを中断し、再スタートを行う。その際の周回数は残り周回数とする。中断前を第1パート、中断後を第2パートとして所要時間と周回数を合算して集計し順位を決定する。再スタート後、さらに2回目の赤旗が出た場合は、残り周回数に係らずレース成立とする。

6.賞典対象

各クラスの参加台数に応じクラス別順位として以下の通り決定する。

3台以下:1位のみ 4~5台:2位まで 6台以上:3位まで

7.シリーズポイントとシリーズ順位

スプリントの全戦を通じて年間のチャンピオンを決定する。但しシリーズ順位は2戦以上参加することで有効とする。

順位	6台以上	5台	4台	3台以下
1位	20pts.	19pts.	18pts.	17pts.
2位	18pts.	17pts.	16pts.	15pts.
3位	16pts.	15pts.	14pts.	13pts.
4位	15pts.	14pts.	13pts.	
5位	14pts.	13pts.		
6位	13pts.			

※最終的に同ポイントの場合は、より決勝順位の上位を記録した事がある選手を上位とする。

※それでも同じ場合は、予選の順位記録でより上位を記録した選手を上位とする。

※以下、1ptずつ減少

8.入場・駐車について

参加車両以外の車両については、原則として駐車料金 ¥500が必要です。積載車の駐車も別途 ¥500が必要ですのでご了承ください。また、サーキットへの入場料として、お一人様 ¥1,000が必要です。競技車両に同乗する1名様までは無料で入場できます。

9.申込とキャンセルについて(キャンセルポリシー)

そのレース当日より、次戦について受付できます。締め切りは各戦開催日の10日前です。また定員となり次第締め切らせていただきます。10日を過ぎてからのキャンセルについては、返金できませんのでご了承ください。締切前のキャンセルの場合、お支払金額から事務手数料 ¥1,500を差し引いて、現金書留で返金致します。保険料は一度納入されますと、返金されません(加入扱いとなります)のをご了承下さい。

10.傷害保険について

鈴鹿ツインサーキットを走行するドライバーは、必ず当日に有効なサーキットが募集する傷害保険に加入しなければならない。本保険には加入義務が課せられるので注意すること。(走行会参加者を含め、全てのドライバーが加入しなければならない)
※サーキットが募集する傷害保険です。開催日当日のみ管理下となります(掛け捨て)。
保険料は、¥500/日を基本とします(会場サーキットによる)

製作:レインボーカラーズ株式会社
COPY RIGHT(C) ALL RIGHTS RESERVED 2019
Rainbowcolors CO., LTD.